

目次

1. 概要	4
1.1. パッケージ内容	5
1.2. 最小システム要件	6
1.3. 製品の外観	7
1.4. ハード ディスク熱管理	9
1.5. ケーブルとコネクタ	10
1.6. 省電力	10
2. 接続	11
2.1. ステップ 1: 電源ケーブルの接続	12
2.2. ステップ 2: USB ケーブルの接続	13
2.3. ステップ 3: LaCie Setup Assistant の起動	14
2.4. ドライブの取り外し	15
2.5. フォーマットおよびパーティション	16
2.5.1. ファイル システム フォーマットについて	16
2.5.2. Windows XP をご使用の方	18
2.5.3. Windows Vista および Windows 7 をご使用の方	21
2.5.4. Mac をご使用の方	24
3. トラブルシューティング	25
3.1. LED インジケータ	25
3.2. トラブルシューティング: Mac をご使用の方	26
3.3. トラブルシューティング: Windows をご使用の方	28
4. カスタマ サポートへのお問い合わせ	30
4.1. LaCie テクニカル サポートの連絡先	31
5. 保証について	32

■ ご注意 ■

日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。

LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営する[グローバルサイト](#)、[Webリンク先の情報](#)、[商品](#)、[ソフトウェア](#)、[サービス等](#)は、[日本市場](#)でお取り扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承ください。

著作権

Copyright © 2011 LaCie. All rights reserved. 電子、機械、コピー、記録など、様式や手段の如何を問わず、本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしに複製したり読み出しシステムに保存したり、伝送を行うことを禁じます。

商標

Apple、Mac および Macintosh は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft、Windows 98、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista および Windows 7 は、Microsoft Corporation の登録商標です。本マニュアルに記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

変更について

本書で使用する資料は参考として提供されており、予告なく変更することがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または省略に起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を有します。

カナダ適合規定

本クラス B デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。

日本適合性宣言

本製品は、VCCI (情報処理装置等電波障害自主規制協議会) の基準に基づく B 種の製品です。家庭環境においてラジオやテレビの受信機のそばで使用すると、無線妨害が起きる可能性があります。使用説明書に従って機器を設置、使用してください。

FCC Statement



本装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次の条件に基づきます。

- ◆ 本製品が有害な電波障害の原因となつてはならない。
- ◆ 本製品は誤動作の原因となる妨害を含め、受信する妨害を許容しなければならない。

注記: この装置は、FCC 規制のパート 15 に準拠したクラス B デジタルデバイスの制限値に適合していることを、試験により確認されています。これらの規制は、一般家庭で取り付けた場合に、有害な障害に対する適宜な保護を提供するために定められています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、使用し、これを放射する場合もあります。また、本取扱説明書の指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらす場合があります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオ、テレビの受信に有害な干渉をもたらす場合 (これは本機器の電源のオン/オフにすることにより判断できます)、次の方法により干渉の解決を試行することをお勧めします。

- ◆ 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- ◆ 本機器と受信機の距離を離す。
- ◆ 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本機器を接続する。
- ◆ 販売代理店または経験豊かなラジオ/テレビ技術者に相談する。

LaCie の承認を受けずに本機器に変更または修正を加えると、FCC およびカナダ適合規定に違反し、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

CE 認証に関するメーカーの宣言

当社は、本機器が以下の欧州規格に準拠していることを明言します。クラス B EN60950、EN55022、EN55024、EN61000-3-2: 2000、EN61000-3-3: 2001

下記条件に関して: 2006/95/EC 低電圧指令、2004/108/EC EMC指令



本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物のリサイクルを行う所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分することは、ユーザーの責任とします。他のゴミと分別して機器廃棄物の回収や再利用を行うことで、自然資源の保護に役立ち、人々の健康や環境を保護するような形でリサイクルできるようになります。機器廃棄物をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、お住まいの地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物のリサイクルを行う所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分することは、ユーザーの責任とします。他のゴミと分別して機器廃棄物の回収や再利用を行うことで、自然資源の保護に役立ち、人々の健康や環境を保護するような形でリサイクルできるようになります。機器廃棄物をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、お住まいの地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

注意: メーカーからの承認を受けずに本機器に変更または修正を加えた場合、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

注意: FCC の定める電波規制に適合し、さらに周辺のラジオやテレビ受信に干渉を引き起こさないよう、必ずシールドタイプの電源コードを使用してください。必ず、付属の電源コードのみを使用してください。

健康および安全上の注意

- ◆ 本製品の保守作業は、有資格者のみが行えます。
- ◆ 本製品の設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。
- ◆ ディスク ドライブを開けたり、分解または改造しないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、本製品に金属物を挿入しないでください。LaCie d2 に同梱されたディスク ドライブには、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません。故障が見られる場合は、資格を有する LaCie テクニカル サポート担当者に点検をご依頼ください。
- ◆ デバイスを雨に晒したり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。本製品の上には、中に液体の入ったものを置かないでください。こぼした場合に、装置の開口部分から液体が中に入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがなどの危険性が高まります。

一般的な使用上の注意

- ◆ 電源要件は、100-240 V \sim 、1.44 A、50 \sim 60 Hz となっています (過電圧カテゴリ II に従って、供給電源の変動範囲は公称、過渡過電圧の \pm 10% 以内に収まるようにしてください)。
- ◆ 本製品は、温度 5°C \sim 35°C、動作湿度 5 \sim 80% (結露なし)、保管湿度 10 \sim 90% (結露なし) の範囲内で使用・保管し、その範囲外の温度や湿度には晒さないでください。

この温度範囲外で使用または保管すると、本製品が損傷したり、ケースが変形することがあります。また、本製品を熱源の近くに置いたり、直射日光 (窓越しの直射日光も同様) に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気が多い場所に置くと、本製品が損傷する恐れがあります。

- ◆ 定格冷却能力は、高度 2000 メートルまでとなっています。
- ◆ 落雷の恐れがある場合、または長時間使用しない場合は、必ず本製品のプラグをコンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。
- ◆ 本製品に同梱されている電源装置のみを使用してください。
- ◆ LaCie d2 をテレビ、ラジオ、スピーカーなど他の電気器具の近くで使用しないでください。そのような器具の近くで使用すると干渉を起こし、他の製品の動作に悪影響を及ぼします。
- ◆ LaCie d2 をコンピュータのディスプレイ、テレビ、スピーカーなど、磁気干渉を起こすものの近くに置かないでください。
- ◆ 磁気干渉により、LaCie d2 の動作や機能の安定性に影響を及ぼすことがあります。
- ◆ LaCie d2 には無理な力をかけないでください。問題に気づいた場合は、本書の「トラブルシューティング」を参照してください。
- ◆ LaCie d2 の使用または保管にあたっては、埃の多い場所を避けてください。デバイス内に埃が蓄積すると、損傷または故障の原因となります。

- ◆ LaCie d2 の外部のクリーニングを行う場合は、ベンジン、塗料用シンナー、洗剤、またはその他の化学製品を使用しないでください。これらの化学製品により、ケースが変形したり褪色することがあります。清掃する場合は、柔らかい乾いた布でデバイスを拭いてください。

重要な情報: 本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の 1 つとして、データのコピーを 2 部取ることをお勧めします。例えば、1 部を外付けハード ディスクに取り、もう 1 部を内部ハード ディスクや別の外付けハード ディスク、またはリムーバブルストレージメディアに取ります。バックアップについて詳しくは、当社の Web サイトをご覧ください。

重要な情報: 1TB (テラバイト) は 1,000GB です。1 GB は 1,000MB です。1MB は 1,000,000 バイトです。利用可能なストレージ容量は動作環境によって異なります (通常は、1TB につき最大 10% 減少)。

1. 概要

LaCie d2 USB 3.0 ハード ディスクをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書では、お買い求めいただいたドライブをコンピュータに接続する方法と、発生する可能性のある問題についてのトラブルシューティング方法を説明します。

問題が生じた場合は、まずクイック インストール ガイド (印刷版) でインストール手順を再確認し、本マニュアルでセットアップについて詳しく説明した章を参照してから、トラブルシューティングの章を参照してください。

さらに、LaCie のサポート ページで本製品についての情報を確認してください。このページには、対話式のトラブルシューティングなど、豊富な情報が掲載されています。 www.lacie.jp に移動し、お使いの製品を選択してください。

上記の対応を行っても解決できない場合は、lacielounge.com または [カスタマ サポートへのお問い合わせ](#) のフォーラムにトピックを投稿することを検討してください。

クイックリンク

トピックをクリックしてください:

- ◆ 接続
- ◆ ケーブルとコネクタ
- ◆ フォーマットおよびパーティション
- ◆ トラブルシューティング

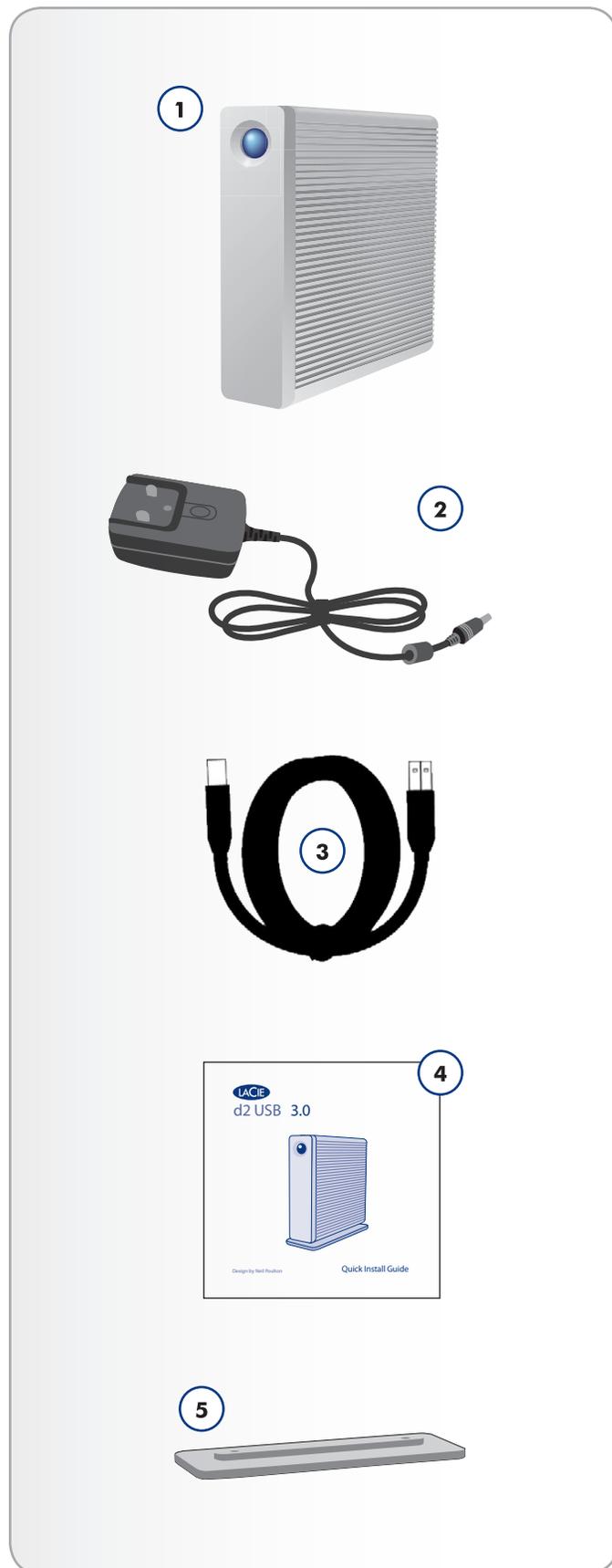


1.1. パッケージ内容

パッケージには、以下の項目が含まれて:

1. LaCie d2 USB 3.0
2. 外部電源装置
3. USB 3.0 ケーブル (USB 2.0 および 1.1 互換)
4. クイック インストール ガイド
5. 縦置き用のドライブ スタンド

重要な情報: 購入時の梱包材は保管しておいてください。デバイスの修理または点検が必要になった場合、必ず製品の包装箱に梱包してご返送ください。



1.2. 最小システム要件

- ◆ USB 2.0 または USB 3.0* ポートを装備したコンピュータ
- ◆ 最新版の Windows XP**、Windows Vista、Windows 7 / Mac OS X 10.5、10.6
- ◆ 最小ディスク空き容量: 600MB 推奨

*SuperSpeed USB 3.0 の転送速度を使用するには、LaCie d2 USB 3.0 を USB 3.0 対応ポートに接続する必要があります。お使いのコンピュータに USB 3.0 ポートがない場合は、USB 3.0 PCI-Express カード (デスクトップ コンピュータ用) または USB 3.0 ExpressCard 34 (ポータブル パソコン用) を増設してください。LaCie では、拡張カードを含め、さまざま周辺機器を発売しています。詳しくは、LaCie ウェブサイト www.lacie.jp をご覧ください。

**Windows XP では、2TB を超えるパーティションは認識されません。

技術面での注意: USB 3.0 インタフェースをコンピュータで動作させるには、追加ドライバが必要になる場合があります。お使いの OS で USB 3.0 がサポートされることを確認し、必要に応じて適切なドライバをダウンロードしてください。

技術面での注意: LaCie d2 USB 3.0 は、USB 3.0 および USB 2.0 インタフェースに対応しています。d2 USB 3.0 を USB 2.0 ポートに接続した場合は、USB 2.0 の転送速度 (最大 480 Mbit/s) に制限されます。

1.3. 製品の外観

正面図

1. **青色のボタン**: LED ドライブ ステータス インジケータおよび電源ボタンとしての役割を果たします。

インタフェース ケーブルを取り外すと、ドライブはオフになります。ただし、ボタンを押してドライブの電源をオンにすることもできます。ボタンを押し続けると、ドライブの電源はオフになります（省電力について詳しくは、「[1.6. 省電力](#)」を参照してください）。

LED が点灯しているときはドライブの電源が入っている状態であることを、点滅しているときはドライブが動作中であることを示します。詳しくは、「[3.1. LED インジケータ](#)」を参照してください。

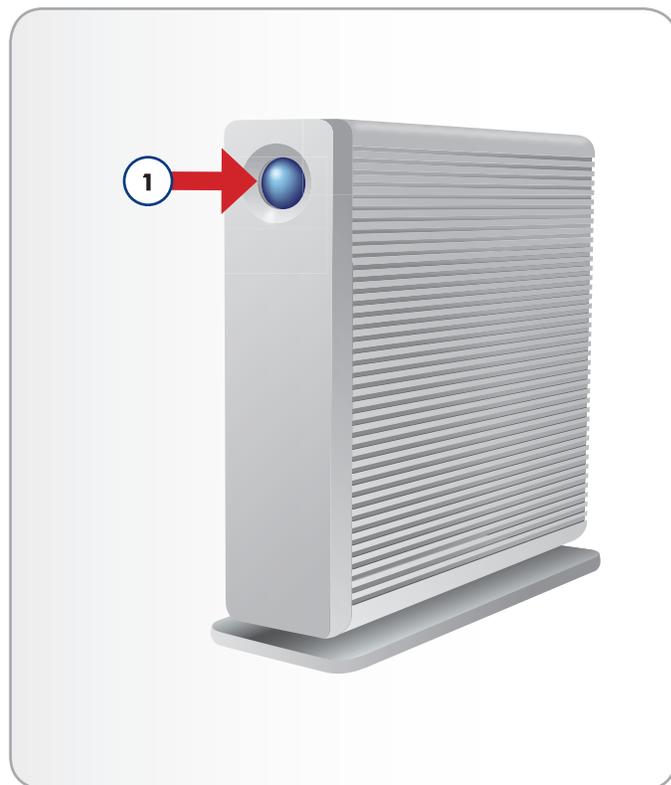


図 01

背面図

1. USB 3.0 ポート
2. 電源アダプタ接続
3. チェーン ロック オプション

注意: 過熱を防ぐため、LaCie d2 は換気のよい場所に設置し、コントローラ チップ周辺に十分な気流を確保するようにしてください。また、換気ファンの動作が阻害されないようにしてください。

環境要件:

温度： 0 ~ 35° C

動作湿度： 20 ~ 80%、結露なきこと

保管湿度： 10 ~ 90%、結露なきこと

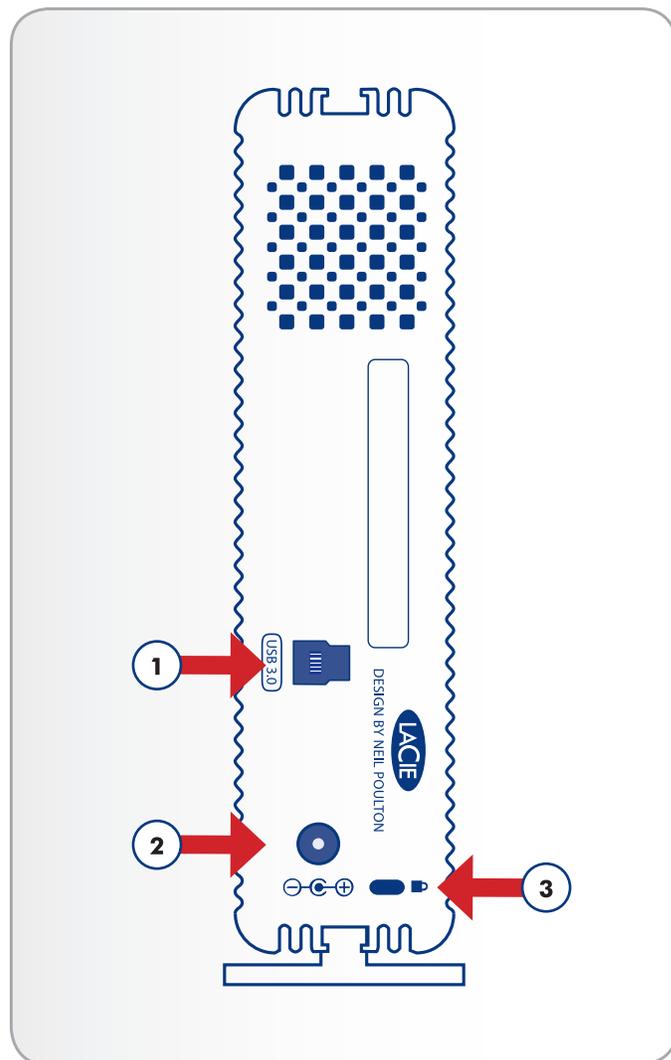


図 02

1.4. ハード ディスク熱管理

放熱設計

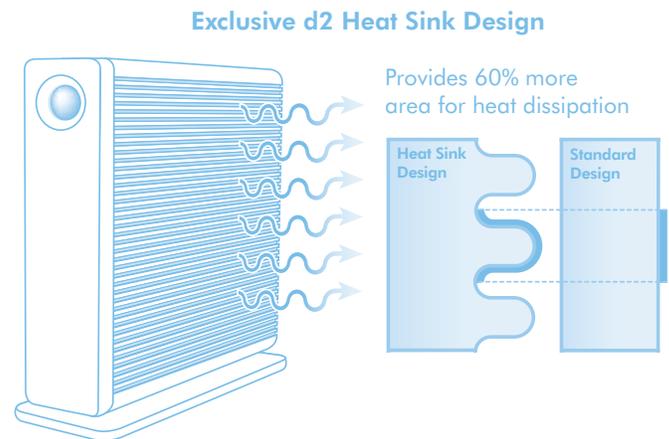
LaCie d2 USB 3.0 のメタル ボディは、ドライブ内部の熱を自然に分散させるために理想的です。この独特な設計は、内部ドライブから外装ケースに熱を引き出します。表面積の大きいヒート シンク ケースが内部の熱を吸収して分散し、ドライブの安全性を保ちながら、耐用年数と信頼性を引き伸ばします。そのため、外装ケースに触れたときに熱を感じても正常です。ケース全体で自然な空気の流れを保つために、裏のベゼルの通気口を塞がないようにご注意ください。

縦置き、重ね置き、ラックマウントの場合

d2 USB 3.0 を縦置きにしたときに、最大限の熱分散が達成されます。LaCie d2 USB 3.0 を積み重ねた場合は、付属のラバーフィートをドライブの底に必ず取り付けてください。

これによってドライブ間で空気が流れるようになり、効果的に放熱が行われます。

注意: 過熱を防ぐため、d2 USB 3.0 ハード ドライブを 4 台以上積み重ねないでください。特に、積み重ねたドライブの電源を同時にオンにする場合は、このことにご確認ください。



1.5. ケーブルとコネクタ

USB 3.0

USB は、周辺装置とコンピュータを相互に接続するためのシリアル入力/出力テクノロジーです。 SuperSpeed USB 3.0 は、この規格の最新の実装であり、広い帯域幅と新たな電源管理機能を提供します。

転送速度は最高 4.8 Gbits/s を実現します (USB 2.0 では 480 Mbits/s)。これは、理論的には USB 3.0 ではプロセッサの最大 10 倍の速度を実現することを意味します (実際にはこの数値より低くなります)。 さらに、強化された電源管理機能により、周辺機器が動作していないときの消費電力が低減します。

本製品には、互換性のある USB 3.0 ポートに接続されたときに最高のデータ転送性能を確保するための SuperSpeed USB 3.0 ケーブルが同梱されています。 ケーブルは USB 2.0 または USB 1.1 ポートに接続しても機能しますが、ドライブのパフォーマンスはそれぞれの転送速度に制限されます。

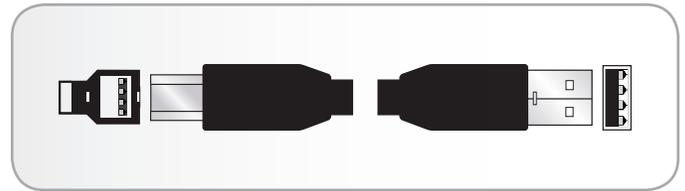


図 03 - USB 3.0 ケーブルの端子

1.6. 省電力

次の場合、d2 USB 3.0 はオフになります。

- ◆ ドライブがコンピュータに接続され、マウントされている状態でコンピュータがシャットダウンされた場合。*
- ◆ ドライブの電源が入っているときに正面の LED を押し続けた場合。電源がオフになるまでに、処理を完了させるために数秒を要することがあります。

LaCie d2 USB 3.0 は、ドライブが 30 分間使用されないと自動的に LED をオフにしてエコ モードに切り替わることで、エネルギーを節約します。 d2 USB 3.0 へのアクセスが行われるまでドライブがエコ モードになっているときは、パーティションはデスクトップ (Mac) またはマイ コンピュータ (Windows) 上に表示されます。

* コンピュータまたは OS の設定で異なる場合があります。

2. 接続

LaCie d2 USB 3.0 ハード ドライブは、LaCie Setup Assistant を使うことによってオペレーティング システムにかかわらず簡単にインストールできます。ドライブのインストールは、次の 3 つの簡単な手順で行います。

2.1. ステップ 1: 電源ケーブルの接続

2.2. ステップ 2: USB ケーブルの接続

2.3. ステップ 3: LaCie Setup Assistant の起動

重要な情報: LaCie ハード ディスクのボリュームが正しくお使いのコンピュータにマウントされるように、設定手順の順序に従ってください。

2.1. ステップ 1: 電源ケーブルの接続

1. 壁のコンセントと LaCie d2 USB 3.0 に電源装置を接続します。
2. 次のステップ「2.2. ステップ 2: USB ケーブルの接続」に進みます。

注意: 本製品に付属する AC アダプタ以外は使用しないでください。他の LaCie 製品の電源装置または他のメーカーの電源装置は使用しないでください。他の電源ケーブルまたは電源装置を使用すると、装置の損傷をきたし、保証が無効になる場合があります。

LaCie ドライブを移動する場合は、必ず AC アダプタを取り外してください。アダプタを取り外さずに移動すると、デバイスの損傷を引き起こし、保証が無効になる場合があります。

LaCie ドライブは 100V ~ 240V の間で自動的に電源の切り替えを行うため、海外でもご使用いただけます。海外でご使用になる場合は、適切なアダプタまたはコードをご用意ください。不適切なアダプタの使用によりデバイスに損傷が生じた場合、当社では責任を負いかねます。当社認定品以外のアダプタをご使用になると、保証が無効になります。

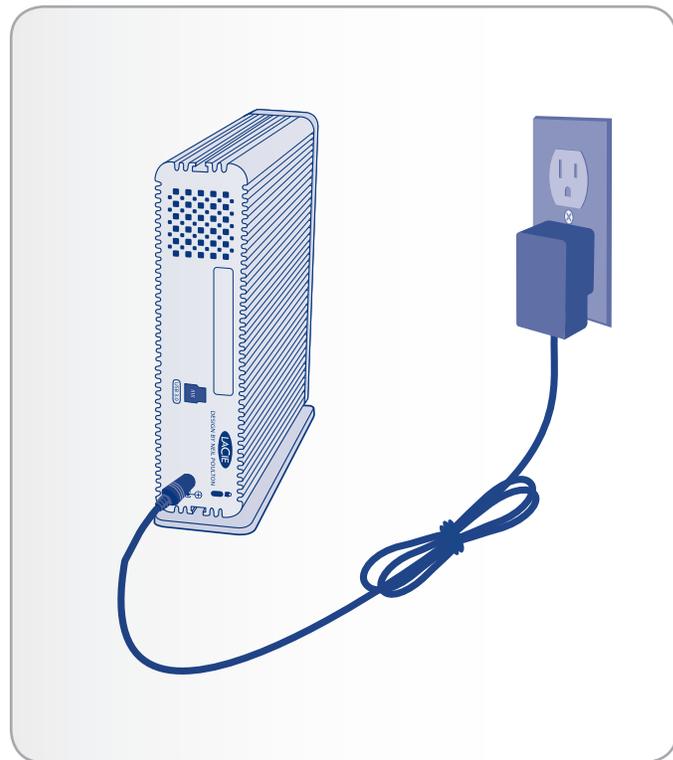


図 04

2.2. ステップ 2: USB ケーブルの接続

1. USB 3.0 ケーブルをドライブと、コンピュータ上で互換性のあるポートに接続します。
2. 数秒すると、小さな LaCie パーティションがコンピュータにマウントされ、[マイ コンピュータ] (Windows の場合) またはデスクトップ (Mac の場合) に表示されます。
3. 次のステップ「[2.3. ステップ 3: LaCie Setup Assistant の起動](#)」に進みます。

技術面での注意: コンピュータに USB 3.0 ポートがない場合は、付属の USB 3.0 ケーブルを USB 2.0 ポートまたは USB 1.1 ポートに接続できます。この場合、ドライブのパフォーマンスはそれぞれの転送速度に制限されます。

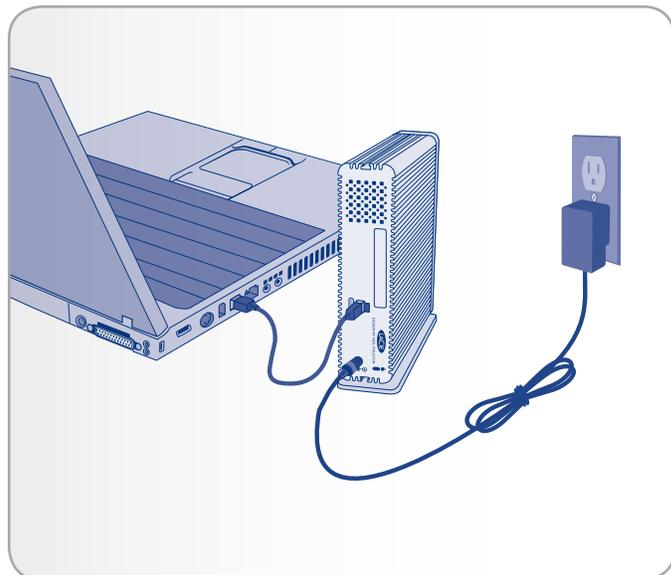


図 05

2.3. ステップ 3: LaCie Setup Assistant の起動

ドライブを使用する前に、LaCie Setup Assistant ソフトウェアを起動してドライブのフォーマットを行う必要があります。LaCie Setup Assistant には次の機能があります。

- ◆ 用途に合わせてドライブを最適化
- ◆ マニュアルおよびユーティリティを LaCie ハード ディスクにコピーする

LaCie Setup Assistant を使用する場合でも、コンピュータの標準ディスク ユーティリティ プログラムを使って LaCie ドライブのフォーマットやパーティション設定を行うことができます。Setup Assistant の操作を完了した後、コンピュータの標準ディスク ユーティリティ (Windows の場合はディスクの管理、Mac の場合は Disk Utility) を使用してドライブを再フォーマットします。詳しくは、「2.5. フォーマットおよびパーティション」を参照してください。

LaCie Setup Assistant を起動するには、次の手順に従います。

Windows をご使用の方: [マイ コンピュータ] の [LaCie] アイコン (または Windows Vista の場合は [コンピュータ]) をダブルクリックします。

Mac をご使用の方: デスクトップに表示される [LaCie Setup Assistant] アイコンをダブルクリックします。

LaCie Setup Assistant を起動しない場合、またフォーマットが開始した後で LaCie Setup Assistant を終了した場合は、ドライブの使用準備が整わないため手動でフォーマットする必要があります。ユーザー マニュアルやユーティリティはドライブに保存されていないため、次の LaCie Web サイトからダウンロードする必要があります。 www.lacie.com/jp をご覧ください。

重要な情報: LaCie では、セットアップが完了したときにユーザー マニュアルおよびユーティリティをコンピュータの内部ハード ドライブまたはその他のメディアにコピーすることを推奨します。

2.4. ドライブの取り外し

USB 外付けデバイスは「プラグ アンド プレイ」接続を特徴としているため、コンピュータの実行中にドライブを接続したり、取り外すことができます。ただし、故障を防ぐため、LaCie ドライブを取り外すときにはこれらの手順に従うようにしてください。

Windows XP をご使用の方

画面右下にあるシステム トレイから、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (ハードウェアの上に小さい緑色の矢印が描かれたイメージ) をクリックします (図 06)。

このアイコンが管理するデバイスを一覧表示した「...を安全に取り外します」というメッセージが表示されます。このプロンプトで取り外すハード ディスクをクリックします。

ここで、「ハードウェアを安全に取り外すことができます」というメッセージ (またはこれに類似したメッセージ) が表示されます。これで、デバイスを安全に取り外すことができます。

Windows Vista & Windows 7 をご使用の方

画面右下にあるシステム トレイから、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (ハードウェアの上に小さい緑色の矢印が描かれたイメージ) をクリックします (図 07)。

ハードウェアの安全な取り外しについてのメッセージが表示されます。

取り外すデバイスの [取り外し] を選択します (図 08)。デバイスを安全に取り外せることを知らせるメッセージが表示されます。

Mac をご使用の方

ハード ドライブ アイコンをごみ箱にドラッグします (図 09)。(以下の図は一般的な USB デバイス アイコンです。ドライブの形をしたアイコンで表される場合もあります)。

デスクトップからアイコンが消えたら、ドライブを取り外せます。



図 06

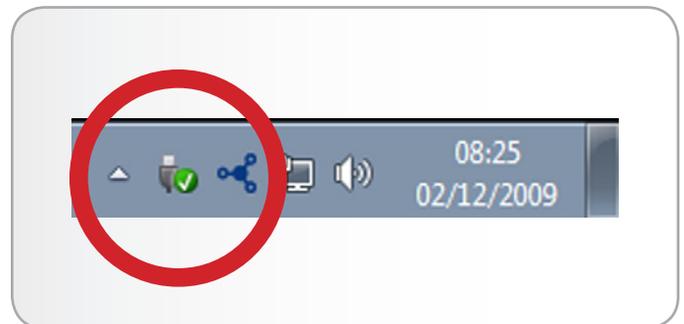


図 07

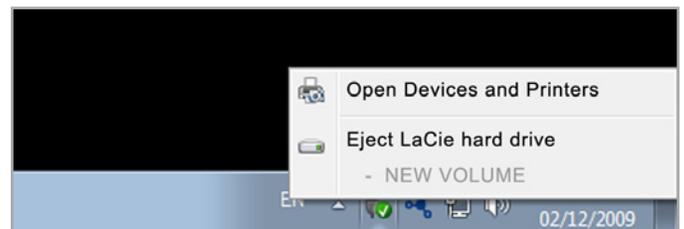


図 08

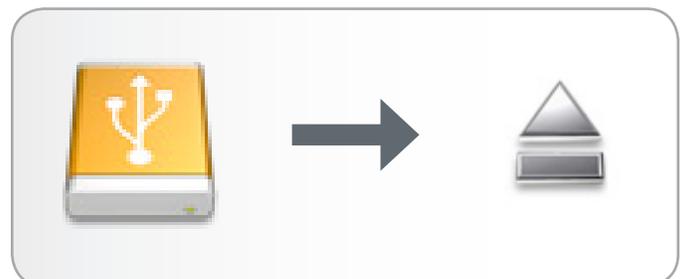


図 09

2.5. フォーマットおよびパーティション

ドライブを初めて接続したときは、LaCie Setup Assistant を実行する必要があります。この処理で、ドライブをニーズに合うようにフォーマットします。

ただし、処理を中断した場合や、Setup Assistant での操作を完了した後にドライブの再フォーマットを行う場合は、本章のフォーマットおよびパーティションに関する説明をご覧ください。フォーマットの方法については、「2.5.2」から「2.5.4」を参照してください。

2.5.1. ファイル システム フォーマットについて

Windows をご使用の方

FAT 32: FAT とは、File Allocation Table の頭文字を取ったもので、DOS プログラミングの頃より使用されてきたものです。元来 FAT は 16 ビットのみでしたが、Windows 95 の Second Release で 32 ビットにアップグレードされ、そのため名前が FAT 32 となりました。理論上では、FAT 32 のボリューム サイズは、1MB 未満から 2TB まで可能とされています。これは Windows 98 および Windows Me のネイティブ ファイル システムで、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、および Windows 7 でもサポートされています。ただし、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、および Windows 7 で FAT 32 を使用する場合、(ディスク マネージャなどの Windows パーティションユーティリティにより) ボリューム サイズは 32GB までに、また個々のファイル サイズは 4GB までにそれぞれ制限されます。

NTFS: これは、New Technology Filing System の頭文字を取ったもので、Windows NT、Windows 2000、Windows XP、および Windows Vista の本来のファイル システムです。NTFS には、HDD をミラーする機能や RAID 5 機能をはじめ、ファイル圧縮、暗号化、アクセス許可、監査といった、FAT 32 では利用できないいくつかの機能が用意されています。NTFS でサポートされる最小ボリューム サイズは 10MB です。最大ボリューム サイズは MBR フォーマットで初期化した場合は 2TB、GPT フォーマットで初期化した場合は制限がありません。ファイル サイズの制限もありません。NTFS で作成したボリュームは、サードパーティの製品を使用しない場合は Windows NT、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、および Windows 7 のみから (シェアからでなく) 直接アクセスできます。

Windows ファイル システム フォーマット

Windows をご使用の場合、NTFS と FAT 32 (MS-DOS) の 2 つのファイル システム フォーマットのいずれかのカテゴリを選択できます。詳しくは、次の表を参照してください。

次の場合は NTFS を使用します。

ドライブを Windows XP のみで使用する場合。一般に FAT 32 と比較して優れたパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Mac OS 10.3 以降では読み取り専用モードで対応しています。

次の場合は FAT32 を使用します。

Windows および Mac OS 9.x または 10.x の両方でドライブを使用する場合。または、Windows 2000、98 SE、XP、Vista、および Windows 7 の間でドライブを共有する場合。単一のファイル サイズは最大 4GB です。

Mac OS をご使用の方

個別のファイル システム フォーマットでドライブを再フォーマットしたり、パーティションすることで、ドライブをカスタマイズできます。ドライブを 1 つの Mac OS 拡張大容量ボリュームとしてフォーマットし、パーティションを設定すると、Mac OS 環境で最適なパフォーマンスを得ることができます。

Mac OS 拡張 (HFS+) : Mac OS 拡張は、Mac OS X が使用するファイル システムです。HFS+ は、ハード ディスク領域をより効率的に使うことで、古い HFS ファイル システムを最適化したものです。HFS+ を使用すれば、ブロック サイズの制限がなくなります。

MS-DOS ファイル システム (FAT 32): 一般に FAT 32 として知られる Microsoft ファイル システムです。このファイル システムは、LaCie ハード ドライブを Mac と Windows で共有する場合に使用します。

Mac ファイル システム フォーマット

Mac をご使用の場合、Mac OS 拡張 (HFS+) と FAT 32 (MS-DOS) 2 つのファイル システム フォーマットのいずれかのカテゴリを選択できます。詳しくは、次の表を参照してください。

次の場合は HFS+ を使用します。

ドライブを Mac でのみ使用する場合。一般に FAT 32 と比較して優れたパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Windows OS に対応していません。

次の場合は FAT32 を使用します。

Windows および Mac OS 9.x または 10.x の両方でドライブを使用する場合。または、Windows 2000、98 SE、XP、Vista、および Windows 7 の間でドライブを共有する場合。単一のファイル サイズは最大 4GB です。

2.5.2. Windows XP をご使用の方

ここでは、Windows XP を使用してディスク ドライブのフォーマットやパーティション設定を行う手順を説明します。最適なフォーマット形式の選択については、「2.5.1. ファイル システム フォーマットについて」を参照してください。

注意: この手順に従うと、d2 ハード ドライブから全データが消去されます。保護したい情報や今後も使用したい情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. ドライブがコンピュータに接続され、マウントされていることを確認します。
2. [マイ コンピュータ] を右クリックして、[管理] を選択します。
3. [コンピュータの管理] ウィンドウから [ディスクの管理] を選択します ([ディスクの管理] は、[記憶域] グループの下にあります)。
4. [ディスクの初期化と変換ウィザード] ウィンドウが表示されたら、[キャンセル] をクリックします。
5. システムにインストールされているハード ドライブが一覧表示されます。LaCie ハード ディスク ドライブを見つけます (図 10)。赤色の丸に白色の線が示されている記号がある場合、そのハード ディスクを初期化する必要があります。アイコンを右クリックし、[初期化] を選択します。
6. [未割り当て] と表示されている右側の四角いボックスで、または以前にフォーマットしたときのパーティションの一覧から、[新しいパーティション...] を選択します。
7. [新しいパーティション ウィザード] の最初のページで [次へ] をクリックします (図 11)。
8. [プライマリ] または [拡張] オプション (図 12) を選択し、[次へ] をクリックします。

次のページに続く >>

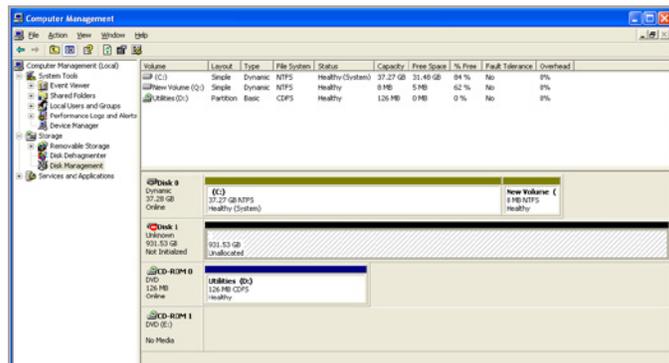


図 10



図 11

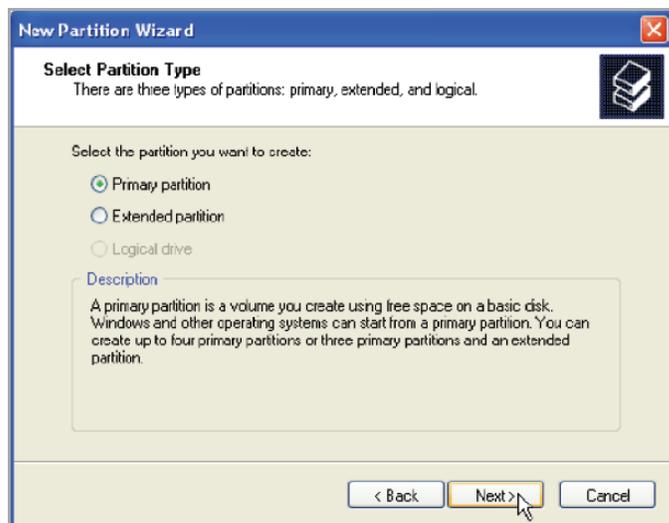


図 12

9. パーティションのサイズを指定します。FAT32 パーティションの場合は、32GB (32000MB) 以下に設定する必要があります。デフォルトでは、全ボリュームを占めるパーティション サイズが表示されますが (図 13) 作業環境に応じてサイズを変更できます。[次へ] をクリックします。
10. ドライブ文字またはマウント パスを割り当てます (図 14)。[次へ] をクリックします。
11. ドライブのフォーマット形式を選択します (パーティションが 32GB 以下の場合は、オプションとして FAT32 だけが表示されます)。「2.5. フォーマットおよびパーティション」を参照してください。FAT32 または NTFS を選択すると (図 15)、フォーマットを大幅に高速化するための [クイック フォーマットする] オプションを選択できます。クイック フォーマットでは、[ディスクの管理] による広範なドライブのエラー チェックは行われませんが、時間を節約できます。[次へ] をクリックします。

[次のページに続く >>](#)

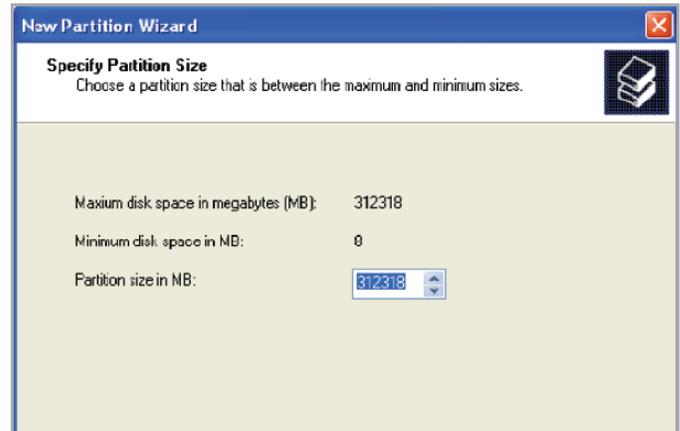


図 13



図 14



図 15

12. ウィンドウが開き、選択できるオプションの一覧が表示されます。設定内容に問題がなければ、[完了] をクリックし、フォーマット処理を開始します (図 16)。変更を加える場合は、[戻る] を選択します。
13. ドライブのパーティションが、[ディスク管理] のドライブの一覧で [正常] ステータスとして表示されます (図 17)。また、[マイ コンピュータ] にもドライブのパーティションが表示されるようになります。これで、ドライブを使用する準備が整いました。

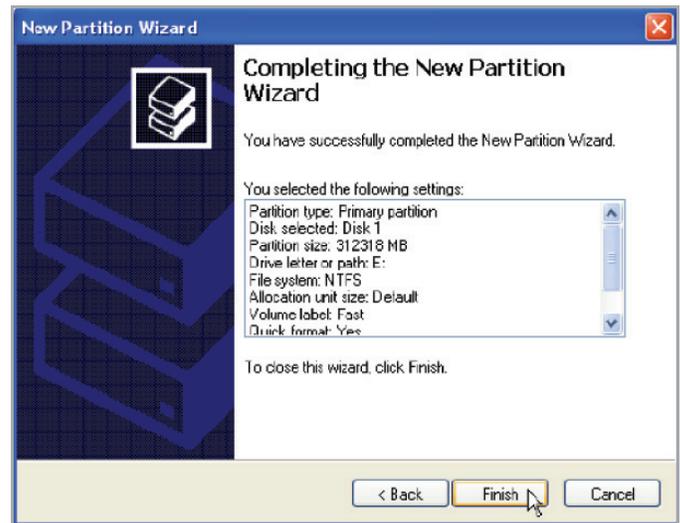


図 16

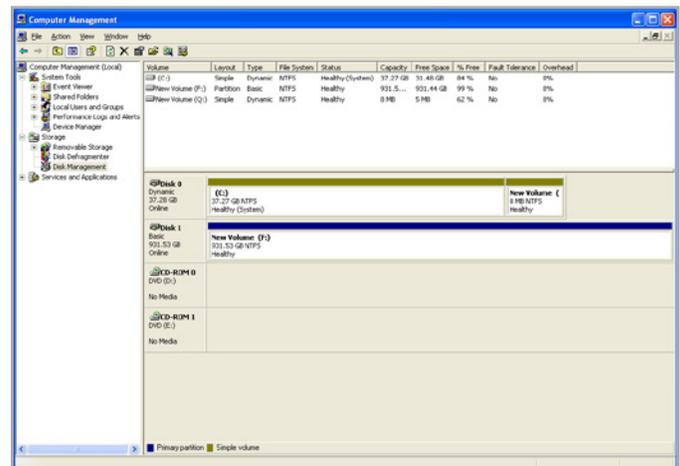


図 17

2.5.3. Windows Vista および Windows 7 をご使用の方

ここでは、Windows Vista または Windows 7 を使用して LaCie ハード ディスクのフォーマットを行う手順を説明します。

注意: この手順に従うと、d2 ハード ドライブから全データが消去されます。 保護したい情報や今後も使用したい情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. [コンピュータ] を右クリックし、[管理] をクリックします。 [管理] ウィンドウで、[ディスクの管理] を選択します。
2. [ディスクの管理] ウィンドウの中央に表示されるドライブの一覧で、LaCie ハード ドライブを右クリックし、[新しいシンプル ボリューム...] を選択します。 (図 18)。
3. 新しいシンプル ボリューム ウィザードが表示されます。 続行するには、[次へ >] を選択します (図 19)。
4. このウィザードを使用して、ボリューム（「パーティション」とも呼ばれます）を作成できます。 1 つのパーティションを作成することも、複数のパーティションを作成することもできます。 作成するパーティションのサイズをメガバイト (MB) 単位で入力します。 例えば、100GB (ギガバイト) パーティションは 100000MB です。 FAT32 パーティションを作成する場合、サイズは 32GB (32000MB) を超えることはできません (図 20)。 パーティションのサイズを選択したら、[次へ >] を選択します。

次のページに続く >>

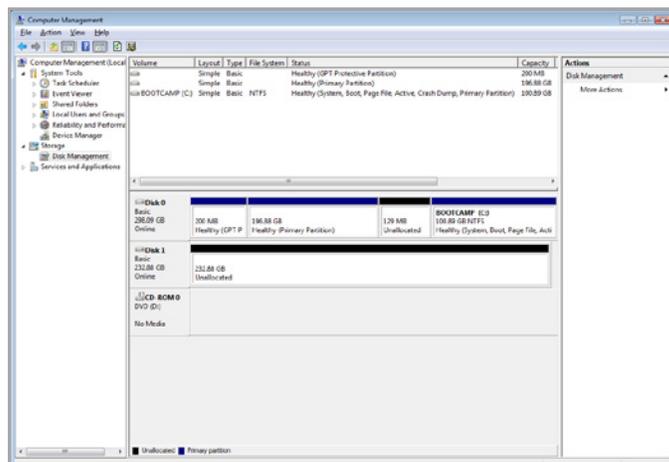


図 18



図 19

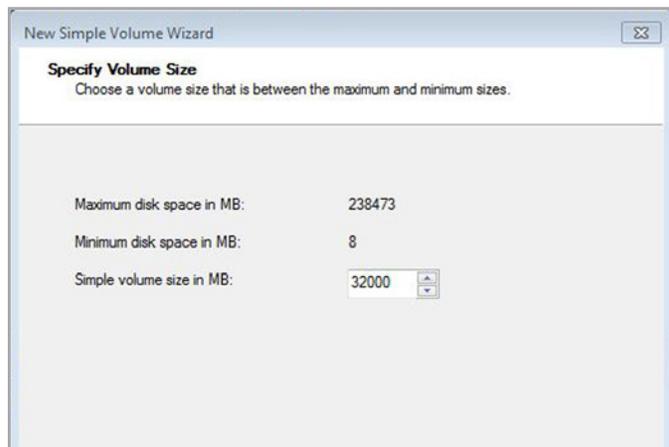


図 20

5. ドライブ文字を割り当てるか、デフォルト設定を受け入れます (図 21)。[次へ >] を選択します。
6. パーティションのファイル システム フォーマット形式を選択します。パーティション サイズが 32GB 以下であると、選択オプションには NTFS と FAT32 も含まれます。フォーマット形式を選択し、[クイック フォーマットする] のチェックをオンにします (図 22)。[次へ >] を選択し

技術面での注意: Windows Vista SP1 と Windows 7 では、exFAT ファイル システムが提供されます。このファイル システムでは、32GB を超えるサイズのパーティションに対する制限はありません (図 23)。主に USB フラッシュ ドライブに使用されてきた exFAT ファイル システムは、FAT32 の数多くの制限を克服しました。exFAT ファイル システムは、Windows Vista SP1 と Windows 7 だけでなく、専用のドライバを使用すれば Windows XP SP2 でも機能します。Mac OS のサポートは不安定であるため、Windows と Apple のオペレーティング システム間で LaCie ドライブを共有することはお勧めしません。

[次のページに続く >>](#)

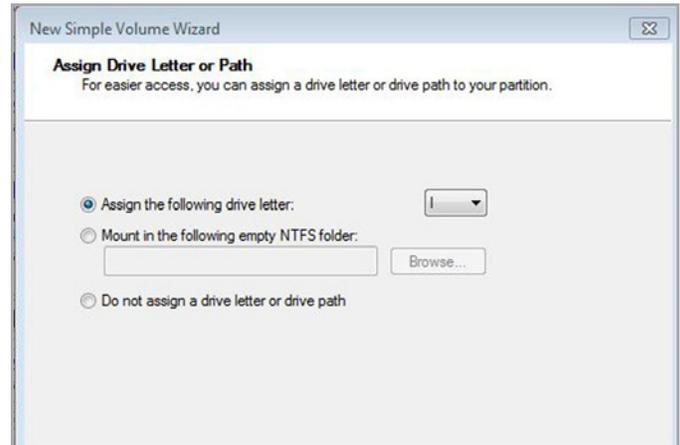


図 21

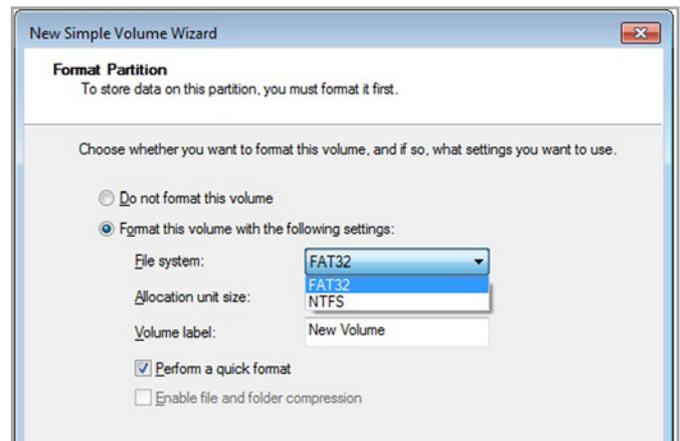


図 22

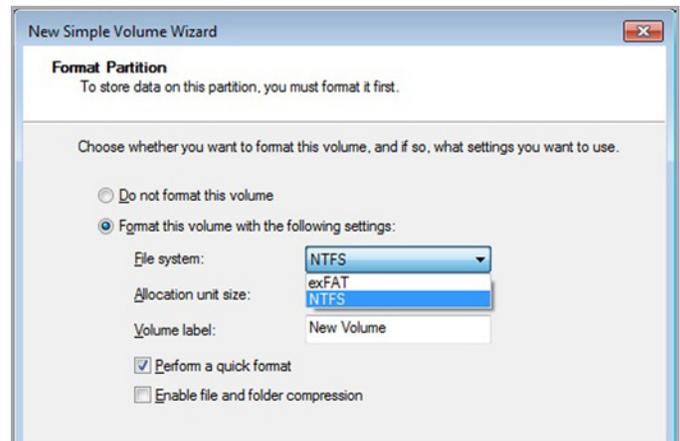


図 23

7. 最後のウィンドウに、選択したフォーマット オプションの概要が表示されます。設定内容に問題がなければ、[完了] をクリックし、フォーマット処理を開始します (図 24)。

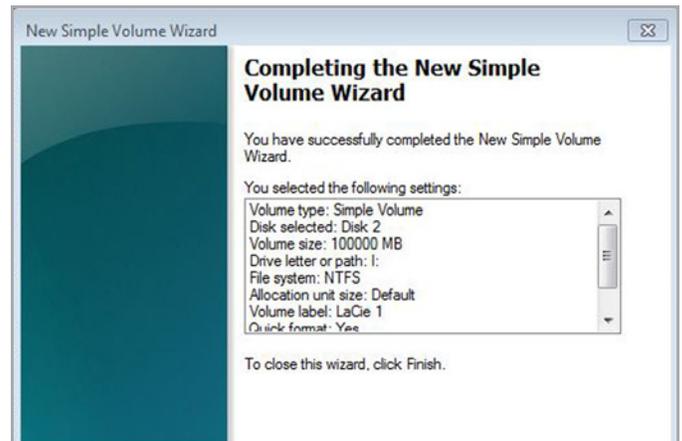


図 24

2.5.4. Mac をご使用の方

注意: この手順に従うと、暗号化されたデータを含め、d2 から全データが消去されます。保護したい情報や今後も使用したい情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. ドライブを電源に接続し、インタフェース ポートを介してコンピュータに接続します。
2. [Finder] メニュー バーの **[移動]** から **[ユーティリティ]** を選択します。
3. [ユーティリティ] フォルダで、**[ディスク ユーティリティ]** をダブルクリックします。
4. [ディスク ユーティリティ] ウィンドウが開きます (図 25)。ウィンドウの左側にある利用可能なハード ディスクのリストから **[LaCie Hard Disk]** というラベルの付いたボリュームを選択します。
5. **[パーティション]** タブをクリックします。
6. **[ボリュームの方式:]** メニューでドライブを分割するパーティションの数を選択します (Mac OS X では、最大 16 パーティションまで分割できるようになっています)。**[ボリュームの方式:]** 領域にあるパーティション間のスライド バーを使用すれば、パーティションのサイズをカスタマイズできます。
7. **[ボリューム情報]** のセクションで、各ボリューム (パーティション) の名前を入力し、ボリューム フォーマットを選択します。

重要な情報: 異なるファイル システム フォーマットのより詳しい比較については、「**2.5.1. ファイル システム フォーマットについて**」を参照してください。

8. ボリュームのオプション設定が完了したら、**[パーティション]** をクリックします。警告メッセージが継続して表示される場合は、再度 **[パーティション]** をクリックします。
9. Mac Disk Utility は、設定に従ってディスクのフォーマットとパーティションを行います。これでドライブの使用準備が整います。

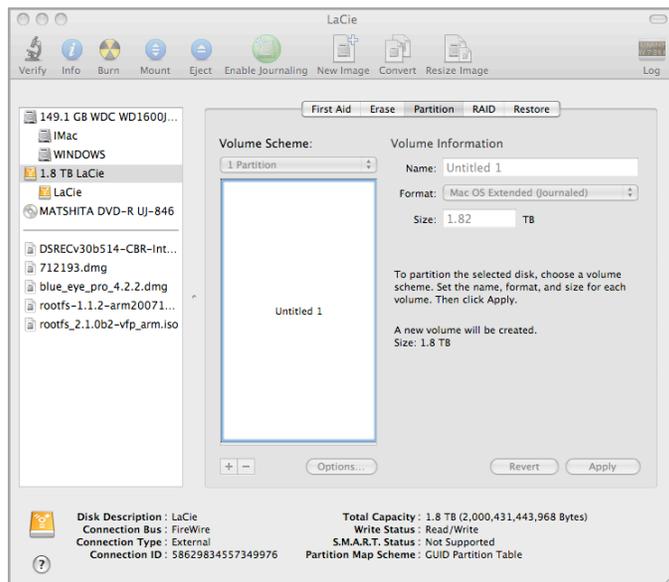


図 25

3. トラブルシューティング

LaCie d2 が正常に機能しない場合は、次ページの表を参照し、デバイスの状態をご確認ください。チェックリストの内容をすべて確認しても製品が正常に動作しない場合は、当社 Web サイト www.lacie.jp に掲載されている FAQ をご一読ください。FAQ の中から質問の回答が見つかる場合があります。また、ドライバ ページも参照してください。最新のソフトウェア アップデートを入手できます。

さらにサポートが必要な場合は、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください（詳しくは、「[4. カスタマ サポートへのお問い合わせ](#)」を参照してください）。

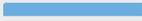
マニュアルの更新

LaCie では、市場で最も新しく包括的なユーザーズ マニュアルをご提供することを常に心がけています。

新しいデバイスを迅速にインストールしてさまざまな機能を利用できるように役立つ、フレンドリーで使いやすいフォーマットをお客様に提供することが、当社の目標です。お買い求めになられた製品の構成がマニュアルに記載されていない場合は、当社 Web サイトをご覧ください、最新のマニュアルをご確認ください。

www.lacie.jp

3.1. LED インジケータ

正面 LED の色	d2 USB 3.0 の状態
ライト ブルー 	製品は USB 2.0 ポートに接続されています
青色に連続点灯 	製品は USB 3.0 ポートに接続されています
青色に点滅 	製品は起動中です。ドライブが初期化されると、青色に点灯します
オフ	d2 に電源が入っていないか、システムが故障したか、または電子ボードに障害が発生しました。LaCie カスタマ サポートまでご連絡ください。

3.2. トラブルシューティング: Mac をご使用の方

問題	質問	ソリューション
コンピュータがドライブを認識しない。	ドライブのアイコンがデスクトップに表示されていますか？	LaCie ドライブのアイコンがデスクトップに表示されているはずですが ([Finder] の環境設定で、外付けディスクをデスクトップに表示しないように設定した場合は、表示されません)。ドライブが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための最小システム要件を満たしていますか？	詳しくは、「 1.2. 最小システム要件 」を参照してください。また、使用しているコンピュータを変更してみてください。コンピュータの問題は、コンピュータ自体の問題であることが数多く見られます。コンピュータが正常に稼働しているように見える場合でも、テストする価値はあります。
	ドライブに電源が接続されていますか？	電源が正しく接続されていること (「 2.1. ステップ 1: 電源ケーブルの接続 」を参照)、および電源を接続したコンセントに正常に通電していることを確認してください。
	インタフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか？	「 2. 接続 」でインストール手順を再度確認してください。
	USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか？	必ず LaCie で提供されている USB ケーブルを使用してください。USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートにきちんと取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでもドライブが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	その他のデバイス ドライバまたは機能拡張と競合していませんか？	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。
	お使いのコンピュータの OS で、そのファイル システムがサポートされていますか？	詳しくは、コンピュータのマニュアルをチェックし、「 2.5. フォーマットおよびパーティション 」を参照してください。
Time Machine で互換性のあるドライブとして認識されない。	ドライブをどのようにフォーマットしましたか？ Time Machine は、HFS+ (ジャーナル付き) でフォーマットされたディスクとのみ互換性があります。FAT32 との互換性はありません。ドライブを再フォーマットして問題を解決してください (「 2.5. フォーマットおよびパーティション 」を参照)。	
Mac OS 10.x でエラー メッセージが表示される。	FAT 32 (MS-DOS) ボリュームへのコピー中、「Error -50」というメッセージが表示されましたか？ ファイルまたはフォルダを Mac OS 10.x から FAT 32 ボリュームにコピーすると、名前に特定の文字が含まれるファイルはコピーされません。コピーされない文字には次のようなものがありますが、これに限定されるわけではありません。 ? < > / \ : ファイルとフォルダを調べ、このような文字が使われていないことを確認してください。	

問題	質問	ソリューション
<p>USB 3.0 を介して接続しても、ドライブのスピードがあまり速くならない。</p>	<p>ドライブは、コンピュータの標準的な USB (2.0 または 1.1) ポートに接続されていますか？</p>	<p>ドライブをコンピュータの標準的な USB (2.0 または 1.1) ポートに接続している場合は、この状態で正常です。USB 3.0 デバイスは USB 3.0 ポートに直接接続された場合にのみ、USB 3.0 のパフォーマンス レベルで動作します。これ以外の場合、USB 3.0 デバイスは低速の USB の転送速度で動作します。詳しくは、「1.5. ケーブルとコネクタ」を参照してください。</p>
	<p>ホスト バス アダプタとデバイスの両方の USB 3.0 ドライブが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライブをアンインストールして、再度インストールしてください。また、コンピュータの Hi-Speed USB 3.0 ポートに直接接続されていることを確認してください。</p>	
	<p>お使いのコンピュータまたは OS で、Hi-Speed USB 3.0 がサポートされていますか？</p>	<p>詳しくは、「1.2. 最小システム要件」を参照してください。</p>
<p>ドライブで「カチッ」という音がする。</p>	<p>それはソフトウェアによる音ですか？ それともハードウェアによる音ですか？</p> <p>ドライブが動作すると、ソフトウェアによる「カチッ」という音がします。ドライブが動作している場合、この音は正常です。ドライブでは、一般に、障害発生前に問題が示されることはないため、ドライブで「カチッ」という音がしても正常に動作しているのであれば不具合を意味するものではありません。ドライブが正常に動作しない場合、考えられる原因は 2 つあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ドライブが破損している可能性があります。この問題は、ドライブを再フォーマットすることで解決できることがあります。 ◆ 外部電源装置または電源ケーブルが原因でドライブに不具合が生じている可能性があります。可能であれば、別の外部電源装置または電源ケーブルを使用してください。 <p>ハードウェアによる「カチッ」という音はわかりやすく、金属と金属とが擦り合うような音がします。このような音は、一般に、物理的な故障があることを示します。このような音が聞こえるようになる前にドライブに衝撃を与えることがなかった場合は、ソフトウェアによる「カチッ」という音であることを検討し、前述のトラブルシューティングを参照してください。</p>	
<p>ドライブをコンピュータに接続しても自動的にオンにならない。</p>	<p>自動オン/オフ機能は、データ ケーブルでの電力の変化を測定することで動作します。残念ながら、すべてのコンピュータで、これらのポートからの電力が変化するとは限りません。電力が変化しないと、シャットダウンが生じてもドライブはそれを認識しません。コンピュータをシャットダウンし、しばらくの間コンピュータを電源から取り外して検証してください。ポートからの電力供給が停止すると、ドライブはシャットダウンされます。</p>	
<p>ファイルを削除しても使用できるディスクの空き領域が増加しない。</p>	<p>ファイルを削除しても、ファイルが真に消去されないと、ディスクで使用されている領域は再生されません。ゴミ箱 (Windows では、ごみ箱) は、実際は、各ハード ドライブに配置されている隠しフォルダです。ファイルを完全に削除するには、別途ステップを実行する必要があります。</p> <p>ファイルを削除して領域を再生するには、[ゴミ箱] アイコンをクリックします。右上の [Finder] メニューに [ゴミ箱を空にする] ボタンが表示されます。このボタンをクリックします。</p>	
<p>フォーマットすると、ドライブ ボリュームの容量が提示されているものより少ない。</p>	<p>フォーマット後にドライブで使用できる容量は、ボックスに提示されているものよりも少なくなります。これは計算上の問題と深く関係しています。500,000,000,000 バイトのハード ドライブを 1,000,000,000 バイトずつに分割すると (製造元のボックスに表示されるとおり) 等しく 500GB ずつになります。フォーマット後にコンピュータによって 1,073,741,824 ずつに分割され、466GB と表示されます。バイト数は同じですが、「ギガバイト」単位では異なるように分割されます。</p>	

3.3. トラブルシューティング: Windows をご使用の方

問題	質問	ソリューション
コンピュータがドライブを認識しない。	ドライブはフォーマットされていますか？	ドライブが正しくフォーマットされているかどうかを確認してください。詳しくは、「 2.5. フォーマットおよびパーティション 」を参照してください。
	お使いのコンピュータの OS で、そのファイル システムがサポートされていますか？	詳しくは、お使いのコンピュータの取扱説明書をよくお読みになり、「 1.2. 最小システム要件 」を参照してください。
	ドライブのアイコンが [マイ コンピュータ] に表示されていますか？	[マイ コンピュータ] を開き、ドライブのアイコンと LaCie ドライブに割り当てられているドライブ文字を探します。ドライブが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。[マイ コンピュータ] を開き、ドライブのアイコンと LaCie ドライブに割り当てられているドライブ文字を探します。ドライブが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための最小システム要件を満たしていますか？	詳しくは、「 1.2. 最小システム要件 」を参照してください。
	ドライブに電源が接続されていますか？	電源が正しく接続されていること（「 2.1. ステップ 1: 電源ケーブルの接続 」を参照）、および電源を接続したコンセントに正常に通電していることを確認してください。
	インタフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか？	「 2. 接続 」でインストール手順を再度確認してください。
	USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか？	USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートにきちんと取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでもドライブが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	その他のデバイス ドライバまたは機能拡張と競合していませんか？	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。

問題	質問	ソリューション
SuperSpeed USB 3.0 ケーブルを介して接続しても、ドライブのスピードがあまり速くならない。	ドライブは、コンピュータの標準的な USB (2.0 または 1.1) ポートに接続されていますか？	ドライブをコンピュータの標準的な USB (2.0 または 1.1) ポートに接続している場合は、この状態で正常です。USB 3.0 デバイスは USB 3.0 ポートに直接接続された場合にのみ、USB 3.0 のパフォーマンス レベルで動作します。これ以外の場合、USB 3.0 デバイスは低速の USB の転送速度で動作します。詳しくは、「 1.5. ケーブルとコネクタ 」を参照してください。
	お使いのコンピュータまたは OS で、SuperSpeed USB 3.0 がサポートされていますか？	ホスト バス アダプタとデバイスの両方の USB 3.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。また、コンピュータの Hi-Speed USB 3.0 ポートに直接接続されていることを確認してください。
ドライブで「カチッ」という音がする。	それはソフトウェアによる音ですか？ それともハードウェアによる音ですか？ ドライブが動作すると、ソフトウェアによる「カチッ」という音がします。ドライブが動作している場合、この音は正常です。ドライブでは、一般に、障害発生前に問題が示されることはないため、ドライブで「カチッ」という音がしても正常に動作しているのであれば不具合を意味するものではありません。ドライブが正常に動作しない場合、考えられる原因は 2 つあります。 ◆ ドライブが破損している可能性があります。この問題は、ドライブを再フォーマットすることで解決できることがあります。 ◆ 外部電源装置または電源ケーブルが原因でドライブに不具合が生じている可能性があります。可能であれば、別の外部電源装置または電源ケーブルを使用してください。 ハードウェアによる「カチッ」という音はわかりやすく、金属と金属とが擦り合うような音がします。このような音は、一般に、物理的な故障があることを示します。このような音が聞こえるようになる前にドライブに衝撃を与えることがなかった場合は、ソフトウェアによる「カチッ」という音であることを検討し、前述のトラブルシューティングを参照してください。	
ドライブをコンピュータに接続しても自動的にオンにならない。	自動オン/オフ機能は、データ ケーブルでの電力の変化を測定することで動作します。残念ながら、すべてのコンピュータで、これらのポートからの電力が変化するとは限りません。電力が変化しないと、シャットダウンが生じてもドライブはそれを認識しません。コンピュータをシャットダウンし、しばらくの間コンピュータを電源から取り外して検証してください。ポートからの電力供給が停止すると、ドライブはシャットダウンされます。	
ファイルを削除しても使用できるディスクの空き領域が増加しない。	ファイルを削除しても、ファイルが真に消去されないと、ディスクで使用されている領域は再生されません。ゴミ箱 (Windows では、ごみ箱) は、実際は、各ハード ドライブに配置されている隠しフォルダです。ファイルを完全に削除するには、別途ステップを実行する必要があります。 このフォルダを空にして領域を再生するには、[ごみ箱] アイコンを右クリックし、 [ごみ箱を空にする] を左クリックします。	

4. カスタマ サポートへのお問い合わせ

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

テクニカルサポートへお問い合わせになる前に

1. このマニュアルをよくお読みになり、「**トラブルシューティング**」を再度ご確認ください。
2. 問題点を明確にしてください。可能であればCPU上の外付けデバイスを本製品だけにして、全てのケーブルが正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。

「**トラブルシューティング**」のチェックリストに全て目を通し、問題が該当しないかを確認願います。それでも本ドライブが正常に動作しない場合は、下記のURLより窓口をご確認ください。

ラシー テクニカルサポートセンター
<http://www.lacie.jp/support/index.html>

情報	確認箇所
1. LaCie ハード ディスクのシリアル番号	デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。
2. Macintosh/PC の機種	Mac をご使用の方 ：メニューバーの Apple アイコンをクリックし、 [この Mac について] を選択します。 Windows をご使用の方 ： [マイ コンピュータ] を右クリックし、 [プロパティ] > [全般] を選択します。
3. オペレーティングシステムのバージョン番号	
4. プロセッサの速度	
5. コンピュータ メモリ	
6. コンピュータにインストールされている内蔵および 外付け周辺機器のメーカー名とモデル名	
	Mac をご使用の方 ：Finderメニューバーのアップル アイコンをクリックし、 [この Mac について] を選択します。 [詳しい情報...] を選択します。Apple システムプロファイラが起動され、内蔵および外付け周辺機器がリストアップされます。 Windows をご使用の方 ： [マイ コンピュータ] を右クリックし、 [プロパティ] > [ハードウェア]

4.1. LaCie テクニカル サポートの連絡先

LaCie オーストラリア http://www.lacie.com/au/contact/	LaCie ベルギー http://www.lacie.com/be/contact/ (オランダ語) http://www.lacie.com/befr/contact/ (フランス語)
LaCie ブラジル http://www.lacie.com/us/contact/	LaCie カナダ http://www.lacie.com/ca/contact/ (英語) http://www.lacie.com/cafr/contact/ (フランス語)
LaCie 中国 http://www.lacie.com/cn/contact/	LaCie デンマーク http://www.lacie.com/dk/contact/
LaCie フィンランド http://www.lacie.com/fi/contact/	LaCie フランス http://www.lacie.com/fr/contact/
LaCie ドイツ http://www.lacie.com/de/contact/	LaCie アイルランド http://www.lacie.com/ie/contact/
LaCie イタリア http://www.lacie.com/it/contact/	LaCie 韓国 http://www.lacie.com/kr/contact/
LaCie 中南米 http://www.lacie.com/us/contact/	LaCie オランダ http://www.lacie.com/nl/contact/
LaCie ノルウェー http://www.lacie.com/no/contact/	LaCie ポルトガル http://www.lacie.com/pt/contact/
LaCie シンガポール http://www.lacie.com/asia/contact/	LaCie 東南アジア http://www.lacie.com/sea/contact/
LaCie スペイン http://www.lacie.com/es/contact/	LaCie スウェーデン http://www.lacie.com/se/contact/
LaCie スイス http://www.lacie.com/ch/contact/ (ドイツ語) http://www.lacie.com/chfr/contact/ (フランス語) http://www.lacie.com/chit/contact/ (イタリア語)	LaCie 英国 http://www.lacie.com/uk/contact/
LaCie アメリカ合衆国 http://www.lacie.com/us/contact/ (英語) http://www.lacie.com/uses/contact/ (スペイン語)	LaCie グランド エキスポート http://www.lacie.com/intl/contact/

5. 保証について

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

■保証内容

1. 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます）内に適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、

無償で本製品を修理または同等製品への交換をいたします。

■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。
 - (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
 - (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、または本製品のご購入日が確認できる証明書（レシート・納品書など）をご提示いただけない場合。
 - (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
 - (4) 弊社及び弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による本製品の改造、分解、修理がおこなわれている場合。
 - (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
 - (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
 - (7) 本製品をご購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下などにより故障した場合。
 - (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
 - (9) その他、無償修理または交換が認められない合理的な事由が発見された場合。
 - (10) 本製品を日本国外でご購入された場合。

■修理

3. 修理のご依頼は、保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段（宅配や簡易書留など）をご利用ください。なお、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 修理・もしくは同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理等により交換された本製品またはその部品等は返却いたしかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、弊社修理センターにてドライブ交換、製品交換を実施した際には、データの保全は行わず全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。
8. 故障とは、本製品が本製品の仕様で定める通りに機能しないことを指します。外観損傷（本製品の傷や破損）については保証対象外となりますので、外観損傷に対する修理・修繕は行いません。

■免責事項

9. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行及び不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
10. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償・復旧等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

11. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。日本国外ではその国の法律・規制により使用ができない、もしくは罰せられることがあります。弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

重要な情報: 保証に関するご不明点は、弊社テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください

サポートURL

<http://www.lacie.jp/support/index.html>